

「**プラチナケール®(ハボタン)**」「**「グロッシーレッド」**」「**「ルシールワイン」**」「**「ルシールバニラ」**」

～矮化剤を用いたポット栽培～



今までにない光沢のある照葉が特長の、新しいタイプのハボタン“プラチナケール”を、矮化剤を用いて、プランターなどで寄せ植えに使えるポット仕立ての栽培方法をご紹介します。かわいらしいサイズのハボタン作りをプラチナケールで挑戦してみてください。



今回のフクロウ先生

タキイ研究農場  
まえだひろゆき  
前田 裕行



お花が大好きな  
女の子  
タキーナちゃん



プラチナケールをポットでコンパクトに育てる方法はないかなあ？



矮化剤を使えば、ポットサイズに育てることができるよ。



矮化剤って…？ どんな効果があるの？ 使い方を教えて。



矮化剤処理は1回目で徒長を防止し、2回目が小型化させる矮化効果の高い処理、3回目の処理は効果を持続させるためなんだよ。



子葉が完全に展開したころ（播種後7日ごろ）に1回目の矮化剤処理をスタート（写真1）。使う矮化剤は「ビーナイン水溶剤80」の300倍液を噴霧器などで植物体全面に散布しよう。



2回目の矮化剤処理はいつごろ実施するの？



播種後14～20日くらいで本葉が3～4枚になるよ（写真2）。この時期がポット上げと2回目の矮化剤処理の適期なんだ。「スミセブンP液剤」を10倍に希釀したものを噴霧器で茎葉全面が濡れる程度に散布しよう。この処理は、日中の高温時は避け、夕方に行おうね。



ポットに移す時の注意点は？



矮化処理を行った苗を、9～10.5cmポットに鉢上げするんだ（写真3）。ポットに市販の清潔な用土を使って、元肥は「オスモコート」1ℓ当たり3g、「マグアソブンII」（速効タイプ）MSサイズを1ℓ当たり2gの肥料を配合するといいよ。



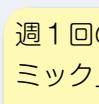
注意するポイントは、鉢上げ直後は乾かさないように灌水管理すること。苗が活着した後、表面が乾き始めたら十分に灌水して、週に1度「ピータース」（20-20-20）を2,000倍で追肥し、初期に葉数を展開させよう。



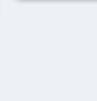
ポットに移してから、追肥などの管理方法は？



9月中下旬に3回目の矮化剤処理を行うんだ（写真4、5）。「スミセブンP液剤」の100倍液または、「ビーナイン水溶剤80」の200倍液を茎葉へ全面が濡れる程度に散布するんじゃ。



週1回の「ピータース」2,000倍液肥は継続し、9cmポット1鉢に対して「プロミック」の中粒なら1粒、「IB化成」なら3粒を追肥しよう。特にプラチナケールは、肥料切れ、水切れで表色の照りがなくなるので肥培管理は十分に行おうね。



緑の葉はいつごろから色付き始めるの？



低温で葉に色が付いてくるので、最低気温が12～13℃に下がり始めてから1カ月程度で着色するよ。プラチナ系は着色も早く、色戻りもしにくいシリーズなんだ。着色後（写真6、7）も液肥での管理を続けければ発色と照りを保つポイントになるよ。



↑子葉が展開したら1回目の矮化剤処理。



↑写真左列から「ルシールワイン」「ルシールバニラ」「グロッシーレッド」。ポット上げと2回目矮化剤処理時期。



↑写真左列から「ルシールワイン」「ルシールバニラ」「グロッシーレッド」。鉢上げ後は灌水に注意。



↑「ルシールワイン」、写真右「ルシールバニラ」。3回目の矮化剤処理。



↑矮化剤処理3回目時期の「グロッシーレッド」。



↑鮮やかに着色した「グロッシーレッド」。



↑着色後の「ルシールバニラ」（写真左）「ルシールワイン」（写真右）。液肥を続けることで色を長く保つ。